

月刊 社会保険 5

2023 VOL.874

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

厚生労働省関係の主な制度変更(令和5年4月)について

両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症に関する
母性健康管理措置による休暇取得支援コース)をご活用ください

不妊治療と仕事との両立のために

日本年金機構からのお知らせ

令和5年4月から現物給与の価額が改正されます

新連載/年金制度の理念と構造 —ポイント解説 高橋 俊之

新たな時代の働き方改革 —仕事の「ムダ」がなくなる超・時短術 越川 慎司

がんケア、さらなる社会化に向かって NPO 法人がんサポーターズ 編

認知症を予防する⑥ 白澤 卓二

社会保険 Q&A シリーズ 柳田 恵一

介護保険の基礎講座 伊藤 直美



厚生労働省関係の主な制度変更(令和5年4月)について	4
両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による 休暇取得支援コース)をご活用ください	8
不妊治療と仕事との両立のために	10
日本年金機構からのお知らせ 令和5年4月から現物給与の価額が改正されます	12
年金制度の理念と構造 ―ポイント解説 第1回 公的年金制度の意義と役割 日本総合研究所特任研究員(前厚生労働省年金局長) <small>たかはし としゆき</small> 高橋 俊之	16
労働法のポイント 第13回 休日の振替と代休 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員会の活動について 株式会社湊組 総務課長 <small>おの ひろゆき</small> 小野 寛之	20
新たな時代の働き方改革 ―仕事の「ムダ」がなくなる超・時短術 第1回 超時短に成功する組織に共通する3つのこと 株式会社クロスリバー代表取締役CEO <small>こしかわ しんじ</small> 越川 慎司	22
書評 <small>おがた ひろや</small> 尾形 裕也 著/この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 ―2025年のヘルスケアシステム	24
がんケア、さらなる社会化に向かって 第1回 「あなたが大切だから」を、もっと、社会のすみずみまで NPO法人キャンサーリボンズ 編	25
認知症を予防する⑥ 第1回 メンタルヘルスの管理には薬より運動が重要 お茶の水健康長寿クリニック院長 <small>しろさわ たくじ</small> 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/労働保険編 34 特定社会保険労務士 <small>やなぎだ けいいち</small> 柳田 恵一	
介護保険の基礎講座 第1回 介護保険サービスの利用について 介護支援専門員・社会福祉士 <small>いとう なおみ</small> 伊藤 直美	35

表紙写真・秋田県 男鹿市 ゴジラ岩の夕暮れ/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有) フェイム/印刷・(株) アイネット



Web版はこちらよりご覧になれます。
<https://www.zensharen.jp/ebook/2305/>
パスワード:dfjh6



社会保険委員会の活動について



株式会社湊組 総務課長

小野 寛之

地域の紹介

和歌山県は北・東側をみどり豊かで長閑な山並みに囲まれ、西・南側は風光明媚な紀淡海峡と太平洋に面しています。2021年度の国内宿泊旅行者に対する調査では都道府県魅力度ランキングの総合満足度1位に選ばれました。弊社が事業拠点とする和歌山市・海南市はその北西部に位置し、両市を合わせた人口は県人口全体の約45%を占めています。

和歌山市は、奈良県から和歌山県へと流れ、瀬戸内海に注ぐ紀の川の河口に位置し、江戸時代は紀州徳川家の城下町として栄え、現在は中核市の指定を受けた県都です。和歌山城をはじめ和歌浦や友ヶ島などの景勝地、温泉やテーマパーク、釣りなどのアクティビティ、今では全国区となった和歌山ラーメンなど、観光資源が豊富で年間を通じて県内はもろん県外からも多くの観光客が訪れます。

海南市は和歌山市の南側に隣接しており、紀州漆器・和傘・製塩の産地として発展しました。日本全国に熊野信仰と共に広がる鈴木姓の発祥地でもあり、希少なお菓子の神様を祀る橋本神社には全国から有名菓子

メーカーが参拝します。さらに、国内8割強のシェアを誇る日用雑貨品の製造や日本酒の醸造も盛んです。

会社の紹介

軍需産業が拡大するなか、軍需大工場の地方新設が国策となっていた時期、和歌山市に製鉄所新設が決定し、それに伴って弊社は昭和16年12月に創業しました。しかし、直後に開戦となった太平洋戦争で、昭和20年7月の大空襲により和歌山市内は壊滅的打撃を受けたまま終戦を迎えます。これにより事業停止・会社解散を余儀なくされましたが、終戦直後の昭和21年4月には製鉄所の復活と



作業風景

もに蘇り、物資不足の中、人力に加えて牛車・馬車の力を借りながら仕事を再開しました。

その後は高度経済成長の後押しも加わり和歌山市・海南市を拠点に発展し続け、2015年には茨城県に鹿島事業所も開設。現在では従業員は900名を超え、グループ会社11社とともに湊組グループを形成するまでに成長しました。

シームレスパイプ製造に関わる生産部、重量物輸送や倉庫管理を担う物流部、プラントエンジニアリングや建設工事に携わる設備部、金属の精密加工を行う機械加工部と様々な事業を展開しております。

また、弊社は県内各所において催



ストラドルキャリア

される様々なイベントやスポーツにも協賛し、地域の発展に力を注いでおります。これまで幾多の苦難も乗り越えてきた湊組は、これからも地域社会と共に歩んでいきます。

委員会活動

和歌山東社会保険委員会は、和歌山東地区協議会、和歌山北地区協議会、紀北地区協議会の3地区協議会から構成されており、次の活動を行っています。

1 会議の開催

- (1) 地区協議会幹事会(5月・10月・1月)
 - (2) 地区協議会総会(6月)
- 前年度事業実施結果および本年度事業計画(案)ならびに地区協議会活動の各種事業について協議します。

2 研修会の開催

- (1) 地区協議会の研修会(6月・協会けんぽと合同)
- (2) 社会保険委員会合同研修会(11月・協会けんぽと合同)
- (3) 社会保険委員会研修会(3月・協会

けんぽと合同)

3 委員会組織の強化

- (1) 優良社会保険委員の会長表彰(11月)
 - (2) 分科会の開催(7月・1月)
- 「組織等検討分科会」「年金研修・広報分科会」「健康保険分科会」の3分科会がグループ討議形式で、討議、検討、報告を行います。
- 当分科会は、わが委員会の特徴でもあります。
- 委員会としての問題提起とその対策の立案
 - 研修テーマの検討
 - 県外視察交流の検討
- 社会保険委員活動の在り方などについて討議検討しています。また、特に年金事務所との関わりが深い社会保険委員会では、どうしても健康保険情報が少ないため、協会けんぽの評議員(社会保険委員会代表)の方からの情報提供の場ともなっています。

おわりに

社会保険委員だった所属部署の上司が人事異動により転勤となったことで平成28年に委嘱を受けることになりました。業務としての社会保険

には携わっておりましたが、委員会としての活動はまったくわからないまま参加をさせて頂き、他の先輩委員にご教授頂きながら委員としての役割を少しではありますが理解出来てきたところでございます。

私にとって社会保険委員会とは、社会保険委員会活動はもちろんのこと、他業種の方との交流により社会保険に限らずいろいろな情報を共有できる大切な場となっております。

が、現在の社会保険委員会活動は、コロナ禍による影響により前述のような活動がほとんどできない状況にあります。

新型コロナウイルスが1日でも早く終息し、今までのような委員会活動により皆様方と意見交換ができる状況になることを心より願っております。

最後となりますが、年金事務所、協会けんぽ、社会保険協会への日頃よりのご協力への感謝と全国の社会保険委員会の皆様方のご健勝とますますのご活躍をご祈念いたしまして、活動報告とさせていただきます。

(和歌山東社会保険委員会役員)



株式会社湊組本社ビル